

2017.07.04

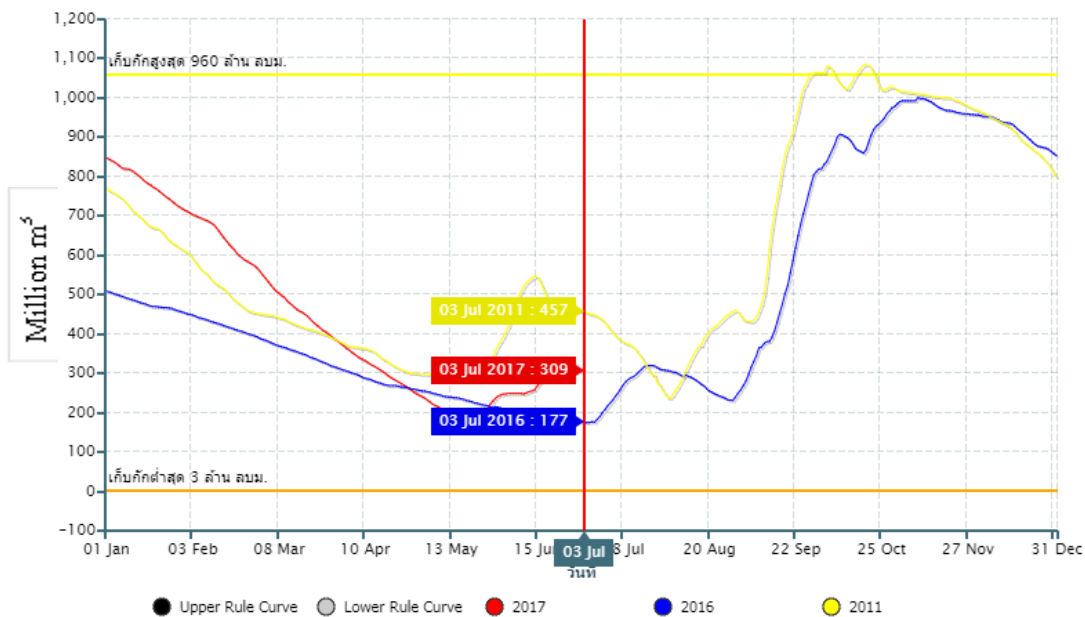
InterRisk Thai Flood Report <2017 No.4>

タイの洪水関連情報

現在の状況 全国に広まっていた降雨は 7 月に入ってから弱まってきていますが、未だにラオスとベトナムから進行している低気圧により、北部の一部および東北部に降雨が続いています。7 月第一週の終わりには降雨が強くなると予測されています。主要な河川やダムの水位は低い状態ですが、一部のダムの水位が高くなっているため、これからの降雨対策として王室灌漑局はダムからの放水を行う可能性があります。
王室灌漑局 (Royal Irrigation Department :RID) のコメント : http://www.ryt9.com 王室灌漑局は現在、洪水が毎年発生する Nakhon Sawan 県の北部で Monkey cheek プロジェクト(プロジェクトの名称)による環境への影響や可能性を研究しています。このプロジェクトの目的はプロジェクトで選定されたエリアを洪水の受け皿にするプロジェクトであり、地元民や当局の話し合いの結果、Monkey cheek project は Sukhothai 県、Pitsanulok 県、Pichit 県と Nakhon Sawan 県の 69 ヶ所に貯水場を設置することとなりました。完成した場合、水を 2,049 mil m³ 貯水することが可能になります。しかし、コストが高額であるため、当プロジェクトは 5 年を目処に完成する予定となっています。6 月末では南東季節風がアンダマン海やシャム湾まで強まっている上、ラオスとベトナムから進行する低気圧により、タイの北部を始め、北東部に降雨が予測されています。しかし、現状は降雨の減少により各主要河川の水位は低い状態になっています。主要ダムは昨年以上の貯水量を確保しているため、この雨季の間に十分な貯水量を確保できると考えられます。一方で、Ubonrat ダム、Pasak Chonlasit ダム、Thub Sala ダムと Nong Pla Plai ダム等の大規模ダムは水位が昨年より高いため、洪水リスクを警戒しなければならない状態にあります。これからの降雨量に対する対策として、王室灌漑局はダム内の貯水を放水する可能性があります。
7 日気象情報 : https://www.tmd.go.th/7-day_forecast.php 7 月 3～4 日、全国に広まっていた降雨が弱まりますが、タイ北部と北東部の一部に降雨が続きます。また、7 月 5～9 日にアンダマン海や全国に広まっている南東の季節風はより強くなるため、局地的に大雨が降るおそれがあり、アンダマン海やシャム湾で 1～2 メートルの高波に警戒が必要になります。
洪水発生状況: http://www.thairath.co.th 先週に発生した洪水情報: 2017 年 6 月 24 日: タイ北部での大雨により、4 つの行政区における多くの稲田に洪水が発生。 2017 年 6 月 29 日: タイ北部に位置する Chiang Mai 県の繁華街で 3 時間の大雨と不十分な排水システムにより洪水が発生。

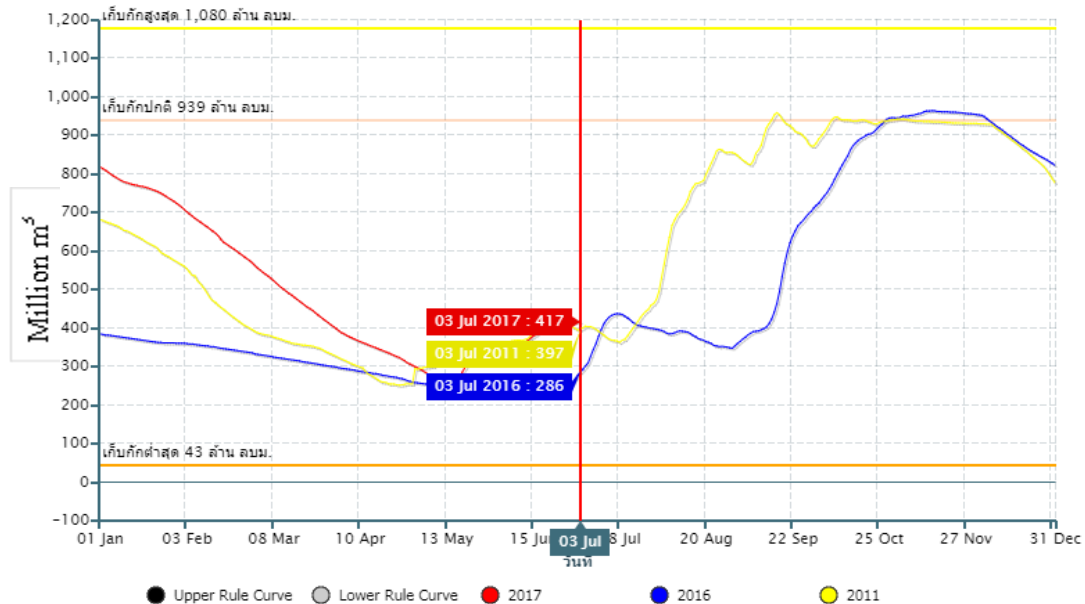
貯水量：Pasak ダム

ปริมาณเก็บกัก เขื่อนป่าสักฯ (32%)



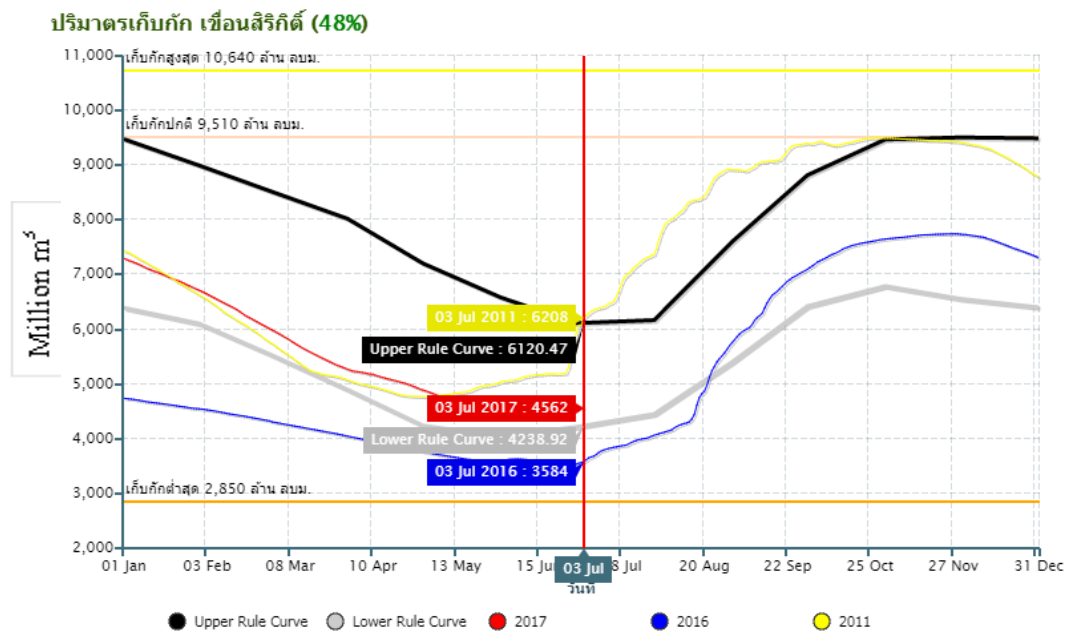
貯水量：Kwaenoi ダム

ปริมาณเก็บกัก เขื่อนแควน้อย (44%)

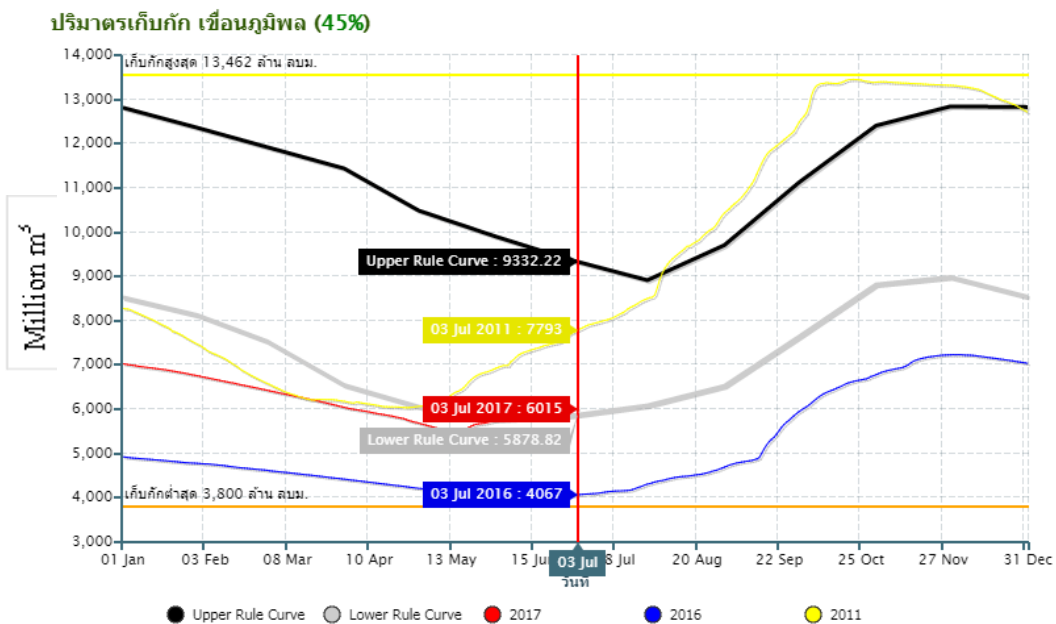


Pasak ダム、Kwaenoi ダムともに、貯水量は 2011 年の同時期を下回っています。しかし、Kwaenoi ダムの貯水量は 2011 年の時期より上昇していますが、大幅な上昇ではありません。現在、貯水量はダムの貯水容量を下回っています。今年は昨年より貯水量が確保されているため、干ばつ対策としての貯水不足にはならないと予測されています。

貯水量：Sirikit ダム



貯水量：Bhumibol ダム



Sirikit ダム、Bhumibol ダムの貯水量はあまり上昇しておらず、2011 年の洪水の際の貯水量と 2016 年の干ばつの貯水量の間の水位になっています。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流）

いずれの観測地点も“Normal（洪水危険なし）”の状態です。

Water Situation in the Chao Phraya River
3rd July 2017
6:00 a.m.



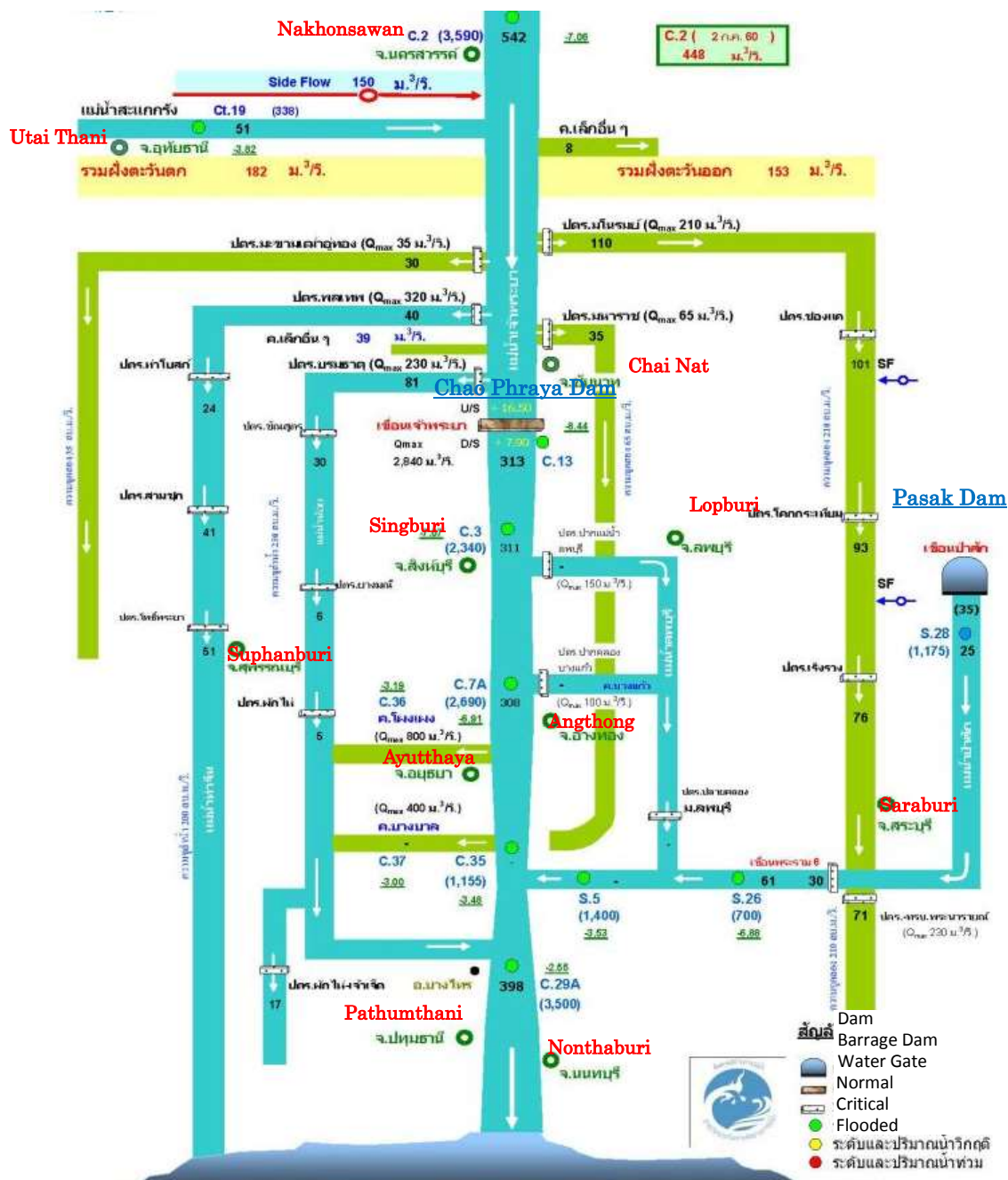
【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防上部高さから河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位 (チャオプラヤダム下流)

いずれの観測地点も**“Normal（洪水危険なし）”**の状態です。チャオプラヤ水系のダム水位、河川流量は適切に管理されています。

Water Situation in the Chao Phraya River
3rd July 2017
6:00 a.m.



【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m3/sec）
②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
③緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd Engineer Mr. Sutiwat Prutthiprasert

参照

<http://www.tmd.go.th/thailand.php>

http://water.rid.go.th/news/news_59_082.htm

<http://www.thairath.co.th/>

http://www.tmd.go.th/monthly_forecast.php

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/MonthRain.php>

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=26082016

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/planup.html

<http://floodlist.com/asia/thailand-floods-reported-14-provinces-3-dead-nakornsawan>

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/planup.html

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=12012017

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

(株)インターリスク総研 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower. South Sathorn Road. Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<http://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright 株式会社インターリスク総研 2017